

(8) 国際的研究人材養成事業

平成18年度予定額 2億円
(平成17年度予定額 2億円)

国際サマースクール

<目的>

我が国と外国の若手研究者がともに議論し、互いに触発し合えるような、国内外の優秀な研究人材の「知の出会い」の場を創出する。

<事業内容>

若手研究者を対象とする合宿形式のサマースクールを開催し、人的ネットワークの構築、学術的相互触発の機会の更なる増大、次世代の学術交流を図る。

<開催実績>

・高エネルギー加速器機構が中心となって実施した欧州原子核研究機関(CERN)サマースクールへの学生派遣支援(平成17年度)

先端科学シンポジウム

<目的>

若手研究者が分野横断的な議論を通じて、細分化された学問分野間の境界を再認識し、新たな学問分野を開拓することを促すとともに、広い学問的視野を持つ次世代のリーダーを育成する。

<事業内容>

・合宿形式で行われるシンポジウムを開催。
・各セッションにおいて、参加者の発表、相互討議が行われるとともに、著名な研究者による講義を実施。

<開催実績>

・日独先端科学シンポジウム(平成17年11月)
・日米先端科学シンポジウム(平成17年12月)

アジア学術セミナー

<目的>

我が国を含むアジア諸国の若手研究者を対象に最新の学術研究動向に関する短期集中型の研修の機会を提供し、もってアジア諸国の研究水準の向上及び研究者の養成を図る。

<事業内容>

・我が国又は他のアジア諸国において、セミナーを開催。
・指導的な研究者による講義、討論、実習及びスタディ・ビジット等を実施。

<開催実績>

・アジアにおけるプレート沈み込み帯における巨大地震発生過程の解明(平成17年9、10月 於:名古屋)
・大望遠鏡と中小望遠鏡の連携観測による宇宙フロンティアの開拓(平成17年3月 於:ハワイ)
・アジア学術セミナー 感染症制圧に向けての最新の展開:基礎から応用まで(平成17年12月 於:中国)

若手研究者国際交流促進事業

<目的>

若手研究者の国際性、独立性を高めるとともに、斬新な発想による独創的な研究を推進し、若手研究者間のネットワーク構築を図る。

<事業内容>

・3日間にわたり、合宿形式で行われるシンポジウムを開催
・各セッションにおいて、参加者の発表、相互討議が行われるとともに、著名な研究者による講義を実施。

<開催実績>

・フランス外務省との覚書に基づきSAKURA プログラムの実施(平成17年度 新規採用 共同研究18件、セミナー3件)